

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公表番号】特表 2004-536906 (P2004-536906A)

【公表日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報 2004-048

【出願番号】特願 2003-503321 (P2003-503321)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 K 3/00

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/34

【F I】

C 0 9 K 3/00 1 1 1 B

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/00 S

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/34

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 16 日 (2004.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

約 1 ～ 約 6 0 重量 % の水と、約 1 ～ 約 6 0 重量 % の H F C - 2 4 5 f a と、約 9 8 ～ 約 1 0 重量 % の 1 , 1 , 1 , 2 - テトラフルオロエタンとから本質的になる共沸性組成物であって、1 4 . 5 7 psia における沸点が - 2 5 . 8 0 ± 4 である共沸性組成物。

【請求項 2】

約 1 ～ 約 3 0 重量 % の水と、約 1 ～ 約 3 0 重量 % の H F C - 2 4 5 f a と、約 9 8 ～ 約 4 0 重量 % の 1 , 1 , 1 , 2 - テトラフルオロエタンとから本質的になる、請求項 1 に記載の共沸性組成物。

【請求項 3】

約 1 ～ 約 1 0 重量 % の水と、約 1 ～ 約 1 0 重量 % の H F C - 2 4 5 f a と、約 9 8 ～ 約 7 0 重量 % の 1 , 1 , 1 , 2 - テトラフルオロエタンとから本質的になる、請求項 1 に記載の共沸性組成物。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の共沸性組成物を含んでなる発泡剤組成物。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の組成物を含んでなる揮発性発泡剤の存在下で、反応してポリウレタンフォームおよびポリイソシアヌレートフォームを生成する成分を混合したものを、反応および発泡させることを含む、ポリウレタンフォームおよびポリイソシアヌレートフォームの製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の共沸性組成物を含んでなる発泡剤の存在下で、ポリイソシアネートまたはポリイソシアヌレートを発泡させることによって調製された独立気泡のフォーム組成物。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の共沸性組成物を含んでなる発泡剤とポリオールとのプレミックス。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の組成物を含んでなる噴射剤とスプレー用材料とを含んでなる、スプレー可能な組成物。

【請求項 9】

前記スプレー可能な組成物がエアゾルである、請求項 8 に記載のスプレー可能な組成物。

【請求項 10】

前記スプレー可能な組成物が化粧品材料である、請求項 9 に記載のスプレー可能な組成物。

【請求項 11】

前記スプレー用材料が医薬材料である、請求項 9 に記載のスプレー可能な組成物。

【請求項 12】

1, 1, 1, 2 - テトラフルオロエタンと H F C - 2 4 5 f a と水との混合物を蒸留して、共沸となる濃度を超えて存在している 1, 1, 1, 2 - テトラフルオロエタンから、1, 1, 1, 2 - テトラフルオロエタンと H F C - 2 4 5 f a と水とから本質的になる共沸組成物または共沸性組成物を分離する工程を含む、1, 1, 1, 2 - テトラフルオロエタンから水を除去する方法。

【請求項 13】

請求項 4 に記載の発泡剤から調製される気泡内ガスを含む独立気泡のフォーム。